

【那覇】沖縄県もずく後、需要の拡大を図り、養殖業振興協議会と財沖取引価格を安定化するた構県産業振興公社は19日めには新商品開発などに県内では先駆的な取り組み後1時半から、浦添市よる新たな市場開拓が課したこホールで「モズク消費拡大戦略フォーラム」を開く。水産庁補助事業の活力ある漁村づくりモデル育成事業を利用し、農商工連携によるモズク消費拡大を狙う。県題という。そこで、多様な消費者ニーズに即した新たな商品開発と販売手は需要の伸び悩みなどに法のあり方を検討するたより原藻価格が低迷。今め「モズク消費拡大戦略

フードコンサルタント 社長、福井博幸(株)琉球シヤスコ取締役食品統括部長、白田氏らがパネリストになりパネル討論する。コーディネーターは知念肇琉球大観光産業科学部准教授。

モズク産業と農商工連携

19日に消費拡大戦略フォーラム

新商品開発と販路開拓目指す

「モズク消費拡大戦略」をテーマに前田晃氏(読谷村漁協指導管理職員)、川満清隆(株)かわまん商店

「モズク消費拡大戦略」をテーマに前田晃氏(読谷村漁協指導管理職員)、川満清隆(株)かわまん商店



モズクの荷さばき作業。沖縄県のモズクは新たな需要開拓が課題となっている

「モズク消費拡大戦略」をテーマに前田晃氏(読谷村漁協指導管理職員)、川満清隆(株)かわまん商店

沖縄県もずく養殖業振興協議会

「モズク消費拡大戦略」をテーマに前田晃氏(読谷村漁協指導管理職員)、川満清隆(株)かわまん商店